

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【地理的分野】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（帝国書院） 発行者番号（46）
1 内 容	①「世界の諸地域」、「日本の諸地域」において地誌的な知識の記述がある。 ②第1学年次初めに学習する「人々の環境」の内容が高度で、興味・関心を与えにくい。 ③「課題→本文→チェック・トライ」という構成で主体的に学べる工夫がされている。各節のまとめの課題では、地図の活用が不足している。	①「世界の諸地域」、「日本の諸地域」において地誌的な知識の記述がある。 ②第1学年次初めに学習する「人々の環境」の内容が高度で、興味・関心を与えにくい。 ③「課題→本文→表現」という構成で主体的に学べる工夫がされている。各節のまとめの課題では、考えの記述が重視されている。	①「世界の諸地域」、「日本の諸地域」ともに地誌的な知識が十分に記述され基礎的・基本的な内容の記述がある。 ②第1学年次初めに学習する「人々の環境」の内容では、写真や食べ物を多く扱うなど興味・関心を高める工夫がなされている。 ③「課題→本文→確認・説明」という構成で主体的に学べる工夫がされている。各節のまとめの課題では、地図の充分に活用され見方・考え方の育成が図られている。
2 構成・分量	①地理学習の中核となる単元「世界の諸地域」は23項目で各項目2ページ、「日本の諸地域」は28項目で、各項目2ページで構成されている。 ②各単元の学習の見通しができるように配慮されていて、全体に渡り地理的な技能が高まるよう配慮されている。 ③「身近な地域」に10ページ、「地域のあり方」に12ページを割いている。また、発表の仕方の記述が充実している。 ④25000分の1の地形図では、旧式のものを使用している。	①地理学習の中核となる単元「世界の諸地域」は28項目で各項目2ページ、「日本の諸地域」は35項目で、各項目2ページで構成されている。 ②地理的な技能の扱いがある。 ③「身近な地域」に13ページ、「地域のあり方」に8ページを割いている。また、発表の仕方の記述は少ない。 ④25000分の1の地形図では、旧式のものを使用している。	①地理学習の中核となる単元「世界の諸地域」は29項目で各項目2ページ、「日本の諸地域」は26項目で、各項目2ページで構成されている。 ②各単元の学習が見方・考え方の育成に配慮しながら全体を見通せるよう配慮され、地理的な技能の育成に多くの紙面を割いている。 ③「身近な地域」に8ページ、「地域のあり方」に11ページを割いている。また、「地域のあり方」では持続可能な社会の視点が強調されている。 ④25000分の1の地形図では、最新の図式を使用している。
3 表記・表現	①全体的に地図・写真ともに見やすく、「世界の諸地域」、「日本の諸地域」各節の見開きページの写真が大きい。 ②最初に学習する「世界の地域構成」は本文と図版の割合に工夫がある。 ③本文中の重要な用語がゴシック体で示されていて、読みやすい表記がなされている。	①「世界の諸地域」、「日本の諸地域」各節巻頭ページの写真は大きい。 ②最初に学習する「人々の生活と環境」は本文と図版の割合に工夫がある。 ③本文中の重要な用語がゴシック体で示されていて、読みやすい表記がなされている。	①「世界の諸地域」、「日本の諸地域」各節巻頭ページの写真は各地域の特色を特徴付けるものを使用している。 ②「人々の生活と環境」は写真が多く図版も大きい。また、本文の文字数が精選されていて生徒の発達段階に考慮がなされている。 ③本文中の重要な用語がゴシック体で示されるなど分かりやすく記述されている。本文の文字が濃く印刷され使用者に配慮している。また漢字のルビが多く発達の段階に即している。
4 使用上の便宜	①各単元・章ごとの紙面の色分けがなされている。必要箇所を開けることができる。 ②読み物資料「地理にアクセス」は37項目あり、工夫されている。 ③製本はしっかりしていて持ち運びに不便はないが、紙がやや薄い。	①各単元・章ごとの紙面の色分けがなされている。必要箇所を開けることができる。 ②読み物資料「地理の窓」は54項目あり、内容が比較的高度だがよくまとめられている。 ③製本はしっかりしていて持ち運びに不便はない。	①各単元・章ごとに紙面の色分けがなされていて、小口（断面）からも判別できるなど必要箇所を開けやすい工夫がされている。 ②読み物資料「地理プラス」は37項目あり、いずれも写真が掲載されているので生徒の興味・関心を引く内容となっている。 ③製本はしっかりしていて持ち運びに不便はない。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【地理的分野】）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（116）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	①「世界の諸地域」「日本の諸地域」とともに地誌的な知識の記述が重視されている。 ②第1学年次初めに学習する「人々の環境」の内容では、現地の人々の声を掲載するなど興味・関心を高める工夫がされている。 ③「課題→本文→確認」という構成で主体的に学べる工夫がされている。各節のまとめは用語の確認のみとなっている。		
2 構成・分量	①地理学習の中核となる単元「世界の諸地域」は24項目で各項目2ページ、「日本の諸地域」は35項目の各項目2ページで構成されている。 ②各単元の学習の見通しができるように配慮されている。地理的な技能の扱いが見られる。 ③「身近な地域」に10ページ、「地域のあり方」に12ページを割いている。また、発表の仕方の記述が充実している。 ④25000分の1の地形図では、最新の図式を使用している。		
3 表記・表現	①「世界の諸地域」「日本の諸地域」各節巻頭ページは写真が多い。 ②「人々の生活と環境」は写真や世界地図などの図版が小さい。 ③本文中の重要な用語がゴシック体で示されている。		
4 使用上の便宜	①各単元・章ごとに紙面の色分けがなされていて、小口（断面）からも判別できるなど必要箇所を開けやすい工夫がされている。 ②読み物の資料「地理＋α」は44項目あり、いずれも写真が掲載されている。 ③製本はしっかりしている。		

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【歴史的分野】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（帝国書院） 発行者番号（46）
1 内 容	①巻頭では、日本の国宝・重要文化財や「持続可能な社会」の実現に向けた資料を掲載し、歴史を学ぶ意味について考えることができるようになっている。 ②見開きを中心に、興味・関心を引き出す「導入資料」→1時間を貫く問いである「学習課題」→丁寧に分かりやすい「本文」→1時間の学習課題を解決する「チェック&トライ」の流れで構造化され、学習内容の確実な定着を図れるように工夫している。 ③「歴史的な見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしている。	①巻頭・巻末では、写真資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されている。 ②見開き1時間分ごとに、「学習課題」（学習の見通し）→「確認・表現」（振り返り）の展開で構造化され、歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が的確に押さえられている。 ③授業の初めに位置付けた「学習課題」を受けて、資料の読み解きのために適宜設けられている「読み解こう」などのコーナーや、1時間の学習の最後に位置付く「確認／表現」のコーナーの「問い」に取り組むことで、生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮されている。	①時代の巻頭に、時代の様子が描かれたイラスト「タイムトラベル」が設けられ、時代への興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっている。 ②見開き1時間分の紙面が、興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧に分かりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるようになっている。 ③「タイムトラベル」のイラストで時代のイメージを掴み、歴史的事象に関する社会的背景、政治や経済の内容と関連付けた解説を通して多面的・多角的に歴史を捉えられるように配慮されている。
2 構成・分量	①問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしている。 ②学習内容の構造化と焦点化を図っている。123時間の時数で学習が完結できるようにしており、学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数135時間に対して余裕をもった指導計画の作成が可能となっている。	①各章の扉ページや「学習を始めよう」には、図版を大きく掲載し、資料の読み取りを行いながら、章の学習内容を見通すことができるように工夫されている。 ②授業時数は、授業時数合計135時間で配当され、無理なく学べるよう配慮されている。	①「もくじ」「この教科書の学習の仕方」では、単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置付けや見通しがつかみやすいように工夫されている。 ②学習内容の構造化と焦点化を図っている。127時間の時数で学習が完結できるようにしており、学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数135時間に対して余裕をもった指導計画の作成が可能となっている。
3 表記・表現	①文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載している。 ③教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所に適宜振り仮名が付けられている。	①文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②文字や図版など資料の印刷は鮮明で、色彩もビジュアル性が高く、統計資料も整っている。 ③地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語などには、見開きごとに振り仮名が付けられている。	①文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすくなっている。 ③本文、図版タイトル、全ての人名、キャプションの難しい漢字や、固有名詞・歴史用語に適宜振り仮名が付けられている。
4 使用上の便宜	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③時代や出来事のポイントとなった人物を紹介した「人物コラム」を随所に設け、人物に目を向けた歴史学習を行えるようにしている。	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③時代を大観する構造図や地域を調べる活動などを設定し、生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げ、歴史とのつながりを意識できるように工夫されている。	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③様々な時代や場面で日本の歴史に足跡を残した人物を紹介する「人物コラム」のコーナーを側注欄に49名分設け、歴史により親しみがもてるように工夫されている。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【歴史的分野】）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（山川出版） 発行者番号（81）	発行者（日本文教出版） 発行者番号（116）	発行者（育鵬社） 発行者番号（227）
1 内 容	①巻頭に「歴史との対話」、「身近な地域を調べよう」を掲載し、歴史の学習の進め方が分かるように配慮されている。 ②1単元見開き2頁ごとに「導入」→「本文」「図版・資料を読み解く」→「まとめ・ステップアップ」で構成され、章全体を通して基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるようになっている。 ③時代を通した視点、グローバルな視点で見たテーマやポイントを絞ってクローズアップしたテーマなどの10テーマを取り上げ、多角的・多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができるよう工夫されている。	①巻頭に「私たちと歴史とのつながり」を掲載し、歴史に関する身近なつながりへの気付きを促すように配慮されている。 ②見開き1時間分ごとに「導入」→「本文」→「チャレンジ歴史」→「本文」→「まとめページ」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が図られるよう工夫されている。 ③学習課題の理解を深めるため、歴史的な見方・考え方を働かせる問いを「深めよう」に示し、習得した知識を定着させ活用させることで、思考力・判断力・表現力等の向上を図ることができるようにしている。	①巻頭に「この教科書の使い方」を掲載し、生徒が効率的な学習を進めることができるよう工夫されている。 ②見開き1時間分ごとに学習内容をまとめ、「導入資料」→「ねらいの把握」→「調べる」→「まとめる」→「表現する」という構成で学習の定着を促す内容になっている。 ③「鳥の目で見える」、「虫の目で見える」というページを設定し、生徒に学習のイメージをもたせている。また「歴史ズームイン」などで主体的な学習が促されている。
2 構成・分量	①1 単元ごとにその単元を理解するための発問が設定され、生徒にとって意味の分かりにくい用語には用語解説が付されている。また、歴史の流れをつかむ章扉の帯年表やまとめのページが設けられている。 ②授業時数は、授業時数合計 135 時間で配当され、無理なく学べるよう配慮されている。	①実物大資料が多数掲載されているほか、資料を読み取る活動が設定されており、生徒が楽しく歴史を学びながら資料活用能力の向上も図れるように工夫している。 ②学習内容の構造化と焦点化を図っている。115時間の授業時数で学習が完結できるようにしており、学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数135時間に対して余裕をもった指導計画の作成が可能となっている。	①各時間の終わりに「学習のまとめ」が設けられ、歴史的事象の意味、意義を解釈したり、事象間の関連を説明させたりする等の言語活動に取り組めるよう工夫されている。 ②授業時数は、授業時数合計 135 時間で配当され、無理なく学べるよう配慮されている。
3 表記・表現	①文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②見開き2ページごとに各6点以上の資料が掲示されている。また高校での歴史総合の学習を見越し、高校での学習で使用する資料や図版・地図が中学生でも理解できるように紹介されている。 ③図版やキャプション、固有名詞や歴史用語には全て振り仮名が付けられている。	①文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。 ②図版は本文との関連が的確で、時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。 ③重要語句は太字にして、全て振り仮名が付けられている。	①文字は適度な大きさで読みやすくなるよう配慮した字体を使用している。 ②見開き2ページの1単位時間の学習において、各5点以上の資料が掲示されている。また資料の部分拡大、実物大が分かる工夫、写真や絵画を読み解くための番号を振るなどがされている。 ③重要語句は太字にして、全て振り仮名が付けられている。
4 使用上の便宜	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③「地域からのアプローチ」を7項目、「歴史へのアプローチ」を10項目掲載し、歴史に親しみがもてるように工夫している。	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③「先人に学ぶ」、「地域に学ぶ」などの特設ページやコラムにおいて、問題解決に取り組んだ先人の姿を具体的に紹介している。	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードはない。 ③「歴史ズームイン」を16項目、「歴史のターニングポイント」が6項目、「なでしこ日本史」を5項目、それぞれ事例を掲載し、歴史に親しみがもてるよう工夫している。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【歴史的分野】）

No. 3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（学び舎） 発行者番号（229）		
1 内 容	①巻頭に「この教科書の使い方」を掲載し、生徒が効率的な学習を進めることができるよう工夫している。 ②1 単元見開き 2 頁で構成され、各部ごとに「部のまとめ」や各章の「第○章をふりかえる」で学習した内容を押さえ、それらを活用して、各時代を大観し表現する活動が取り入れられている。 ③各部ごとに、学習課題が設定されており、何をどのように学ぶのかが表示され、主体的な学習が促されている。		
2 構成・分量	①各章や部のまとめでは、学習した事を比較したり関連させたりして意見交換を促したり、自分の言葉で時代の特色を表現させたりする振り返りの時間が設定されている。 ②授業時数は、授業時数合計 135 時間で配当され、無理なく学べるよう配慮されている。		
3 表記・表現	①文字は適度な大きさと読みやすくなるよう配慮した字体を使用している。 ②見開き 2 ページの 1 単位時間の学習において、各 5 点以上の資料が掲示されている。また資料の種類も様々で、個人蔵の写真資料も掲示されている。 ③人物や歴史上の出来事など重要語句には、全て振り仮名が付けられている。		
4 使用上の便宜	①A判のサイズを使用している。 ②QRコードはない。 ③「歴史を体験する」という活動ページが設けられ、授業実践の蓄積から精選された体験学習を紹介している。		

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【公民的分野】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（帝国書院） 発行者番号（46）
1 内 容	①普段の生活と関わる導入資料が配置され、生徒の興味・関心を喚起する配慮がされている。 ②本時の振り返りとして、1 単位時間ごとに学習内容を確認するチェックが設定されている。 ③単元の構造化が図られ、「見方・考え方」を働かせる活動が設定されている。	①生徒の日常生活と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられるなど、生徒の興味・関心を喚起する配慮がされている。 ②本時の振り返りとして、内容を確認する項目が1 単位時間ごとに設定されている。 ③各章で意識させたい「見方・考え方」の視点が、それぞれの導入ページで紹介されている。	①実社会とのつながりが分かる導入資料「学習の前に」を設置し、生徒の興味や関心を喚起する配慮がされている。 ②本時の振り返りとして、「確認しよう」の項目が1 単位時間ごとに設定されている。 ③具体事例や社会的事象の背景や因果関係を取り上げ、現代社会の「見方・考え方」を基にした活動が設定されている。
2 構成・分量	①「問い」を軸にした単元の構造化がなされており、系統的に学習内容となっている。 ②配当授業時数では、巻頭1 時間、「現代社会と私たち」13 時間、「個人の尊重と日本国憲法」16 時間、「現代の民主政治と社会」23 時間、「私たちの暮らしと経済」24 時間、「地球社会と私たち」14 時間、「より良い社会を目指して」4 時間の計 95 時間で配当されており、学習指導要領が示す公民的分野の授業時数 100 時間に対して余裕をもった指導計画の作成が可能となっている。	①導入、本時、特設、表現で構成され、系統的に配列されている。 ②配当授業時数では、「私たちの暮らしと現代社会」11 時間、「個人を尊重する日本国憲法」18 時間、「私たちの暮らしと民主政治」22 時間、「私たちの暮らしと経済」19 時間、「安心して豊かに暮らせる社会」10 時間、「国際社会に生きる私たち」15 時間、「私たちが未来の社会を築く」5 時間の計 100 時間で配当されており、無理なく学べるよう配慮されている。	①見通し、本文ページ、振り返りの流れで構成され、系統的な学習内容となっている。 ②配当授業時数では、「現代社会」11 時間、「政治」34 時間、「経済」28 時間、「国際」24 時間の計 97 時間で配当されており、学習指導要領が示す公民的分野の授業時数 100 時間に対して余裕をもった指導計画の作成が可能となっている。
3 表記・表現	①「公民にアクセス」などのコラム欄を設け、分かりやすい表記・表現で本文の学習内容や関連する内容を取り上げている。 ②文字と資料の比率は、6 対 4 程度となっている。 ③見開き 2 ページごとに付すことを原則に、教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所に振り仮名が付けられている。	①「公民の窓」などのコラム欄を設け、分かりやすい表記・表現で本文の学習内容や関連する内容を取り上げている。 ②文字と資料の比率が 5 対 5 程度となっている。 ③見開き 2 ページごとに固有名詞や社会特有の用語などの必要な箇所に振り仮名が付けられている。	①「公民プラス」などのコラム欄を設け、分かりやすい表記・表現で学習内容に関連する実社会の動きについて取り上げている。 ②文字と資料の比率が 5 対 5 程度となっている。 ③見開き 2 ページごとに固有名詞や社会特有の用語などの必要な箇所に振り仮名が付けられている。
4 使用上の便宜	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③重要文化財や国宝、文化遺産、他教科との関連が分かるマークを記載するなど、学習を多面的に進められるように配慮されている。	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③難しい用語の解説や使用についての問いかけが分かるマークを記載するなど、学習の理解が深まるよう配慮されている。	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③SDGs に関連する項目には SDGs マークが記載され、学習内容と今日的な課題である「持続可能な開発目標」との関連が図られている。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【公民的分野】）

No. 2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（日本文教出版） 発行者番号（116）	発行者（自由社） 発行者番号（225）	発行者（育鵬社） 発行者番号（227）
1 内 容	①これからの社会に関する導入資料が配置され、生徒の興味・関心を喚起する配慮がされている。 ②本時の振り返りとして、「確認」の項目が1単位時間ごとに設定されている。 ③具体例を取り上げ、段階的に「見方・考え方」を基にした活動が設定されている。		①自分と社会との関わりの導入資料が配置され、生徒の興味・関心を喚起する配慮がされている。 ②本時の振り返りとして、「学習のまとめ」の項目が1単位時間ごとに設定されている。 ③現代社会を捉える「見方・考え方」の具体的な事例を通して学べるように工夫されている。
2 構成・分量	①導入ページ、本文ページ、編末の流れで構成され、系統的に学習できる構成である。 ②配当授業時数では、巻頭1時間、「私たちと現代社会」11時間、「私たちの生活と政治」34時間、「私たちの生活と経済」23時間、「私たちと国際社会」14時間、「私たちの課題」7時間の計90時間で配当されており、学習指導要領が示す公民的分野の授業時数100時間に対して余裕をもった指導計画の作成が可能となっている。		①「つかむ、調べる、まとめる」の流れで構成され、系統的に学習できる構成となっている。 ②配当授業時数では、巻頭1時間、「私たちの生活と現代社会」14時間、「私たちの生活と政治（憲法）」19時間、「私たちの生活と政治（政治）」19時間、「私たちの生活と経済」25時間、「私たちと国際社会の問題」17時間、まとめ5時間で、計100時間で配当されており、無理なく学べるよう配慮されている。
3 表記・表現	①「公民+α」などのコラム欄を設け、分かりやすい表記・表現で本文に関する学習内容を掘り下げて理解を深めるための内容を取り上げている。 ②文字と資料の比率が6対4程度となっている。 ③見開き2ページごとに固有名詞や読み間違いやすい名称などの必要な箇所には振り仮名が付けられている。		①「やってみよう」などのコラム欄を設け、分かりやすい表記・表現で本文に関する内容の説明や関連した情報を紹介するための内容を取り上げている。 ②文字と資料の比率が6対4程度となっている。 ③見開き2ページごとに付すことを原則に、教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所に振り仮名が付けられている。
4 使用上の便宜	①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードがあり、ICT機器を活用して関連資料にアクセスできる。 ③課題について考える手助けとなるチャートや表についてシンキングツールマークで示し、グループ活動等を通じて主体的に学習を行うための教材を紹介している。		①AB判のサイズを使用している。 ②QRコードはない。 ③地理分野や歴史分野、憲法や法令等のマークを記載し、各マークに関連した事項を確認するなど、学習内容の補足として活用できるよう配慮されている。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（社会【地図】）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（帝国書院） 発行者番号（46）	
1 内 容	①巻頭の「世界全図」では国名の赤文字と国の色彩が重なるところがある。 ②世界の州に置かれている鳥瞰図は、地形のみを掲載している。 ③世界・日本ともに資料図が豊富で主体的な学習が進められ見方・考え方が深められるよう配慮されている。 ④地理だけでなく、歴史・公民も含めて活用できるよう配慮されている。	①巻頭の「世界の国々」は赤字の国名が大きくはっきり印字され、色彩も鮮やかである。 ②世界の州ごとに置かれている鳥瞰図には地形だけでなく地理的要素が加えられている。また、地図の中にイラストがある。 ③世界・日本ともに資料図が豊富で主体的な学習が進められ見方・考え方が深められるよう配慮されている。 ④地理だけでなく、歴史・公民も含めて活用できるよう配慮されている。	
2 構成・分量	①一般図で東南アジアと南アジアが同じ図版で扱われるなど、教科書の単元構成と一致していない部分が見られる。 ②一般図・資料図・統計資料がまとまりよく系統的に配列されている。 ③複数掲載されている日本の地方図では、100万分の1、50万分の1などの統一された縮尺を使用している。主要都市には10万分の1の地図を適宜掲載している。	①一般図で南・西・中央アジアが同じ図版で扱われるなど、教科書の単元構成と一致していない部分が見られる。 ②一般図・資料図・統計資料がまとまりよく系統的に配列されている。 ③複数掲載されている日本の地方図では、100万分の1、50万分の1などの統一された縮尺を使用している。主要都市には30万分の1、15万分の1、5万分の1など多くの地図を適宜掲載している。	
3 表記・表現	①カラーユニバーサルデザインに対応し、色覚特性に配慮した紙面や図版になっている。 ②現代的な諸課題のページでは、世界の紛争や難民問題が分かる写真が掲載されている。 ③可読性の高いユニバーサルフォントを使用するとともに、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用している。	①カラーユニバーサルデザインに対応し、色覚特性に配慮した紙面や図版になっている。 ②世界の衣食住のページでは、食べ物の写真などがあり、工夫されている。 ③可読性の高いユニバーサルフォントを使用するとともに、読み取りやすい丸ゴシック体の振り仮名を多用している。	
4 使用上の便宜	①AB判のサイズを使用している。 ②巻末の主題図・統計資料のページが豊富で内容が充実している。 ③世界の州、地方、各資料の紙の端が色分けされている。	①A4判のサイズを使用している。 ②巻末の主題図・統計資料のページが豊富で内容が充実している。 ③世界、日本、各資料の紙の端が色分けされている。	